



JAL不当解雇撤回ニュース

No633号 2021.06.06
発行: JAL 解雇撤回国民共闘事務局
連絡先: 航空労組連絡会事務局
〒144-0043 大田区羽田 5-11-4
フェニックスビル内
TEL: 03-3742-3251 FAX: 03-5737-7819
<http://www.jalkaikotekkai.com>

赤坂社長に

5月31日
経営協議会にて

早期解決への決断を訴え

「女性アピール」賛同署名388筆手渡す

5月31日 JAL 天王洲アイル本社にて、各労働組合と会社役員との経営協議会が開催されました。この経営協議会では、解雇問題についても話し合われましたが、最後に内田団長(副委員長)から「女性アピール」の呼びかけ人である6名の方からのメッセージと賛同署名が388筆集まっていることをお伝えし、早期解決を要請しました。

呼びかけ人の方からのメッセージ

わずか3ヶ月余の間、全国からたくさんの賛同が寄せられました。賛同署名を貴社にお届けし、国民・利用者の声を直接訴える機会を設けて頂くようお願いしました。しかし、残念ながら受諾頂けず労働組合を通じて提出することになりました。呼びかけ人、賛同者の『早期全面解決を』の意を受け止めて頂き、女性の活躍、ジェンダー平等が主流となっているいま、貴社が早期解決への決断をして頂くことを強く願っております。

賛同署名に寄せられたメッセージ

- ★私はオリンピックそのものに、大きな疑問を持っています。しかし、JAL がオリパラのオフィシャルパートナーであろうがなかろうが、それとは全く関係なく JAL のこの不当解雇には断じて NO を唱えます。
- ★女性の存在・働く権利を踏みにじるこの不当な日本航空を許してはなりません！ 全ての私たちの問題です。
- ★働く者が大事にされる社会を！ 不当解雇、とんでもありません！ 早期解決しかありません。
- ★あまりに酷い解雇です。人間の尊厳をかけた闘いは絶対に勝利します！
- ★許されることではありません。整理解雇された方々の一日も早い雇用確保をと心から願います。
- ★女性の差別そのものです。早期に解決すべきです。
- ★搭乗した時、声をかけて下さった CA さんも解雇されたと聞きました。一日も早い皆様の復帰を願っています。
- ★貴重な労働力を吐き捨てるように切った JAL に抗議 “一日も早く元の職場に戻す解決を”
- ★JAL の解雇問題の一日も早い解決を望みます。
- ★女性の権利を守って！

個人232筆 団体156筆 TTL388筆

呼びかけ人(敬称略)

- 浅倉 むつ子 (早稲田大学名誉教授・女性差別撤廃条約実現アクション共同代表)
- 竹信 三恵子 (和光大学名誉教授)
- 野中 郁江 (明治大学教授)
- 長尾 詩子 (弁護士)
- 吉永 磨美 (日本航空の不当解雇撤回をめざす国民支援共闘会議共同代表/日本マスコ文化情報労組会議議長[MIC 議長])
- 柴田 真佐子 (日本婦人団体連合会会長)

★世界的にもジェンダー平等が叫ばれている今日、日本の地位向上のためにも早急に前進して下さい。世界が注目しています。

★ベテラン乗務員を一方的に解雇することは許されな



い！様々な困難を乗り越えて働いてきた人たちです。この人たちが輝ける職場にするのが企業の責任だと思います。早期に解決を。

★JAL が人の命を預かる会社が、人員を縮小するなど考えられません。

解雇した社員を早急に元に戻し、市民が安心して飛行機に乗れるように、働きやすい職場にして下さい。安心、安全なJALを求めます。

★安全な空を獲得するためにも、長く働き続けられる職場は大切です。ベテランの人がいなければ、安全もサービスも不安です。不当解雇に反対します。

★男女格差指数は156カ国中120位という相変わらずの下位グループのままです。労働分野での男女平等は大きなテーマだと思います。貴社のような大手の会社でこそ、先陣をきって欲しいです。一日も早い解決を願います。

★日本を代表する航空会社である日本航空が、ジェンダー差別とともれる解雇問題を、未だに解決出来ないことは世界的に見ても恥ずべき問題です。早期解決を求めます。

★理不尽なことは許せません。

★一日も早い職場復帰を願って、ずっとうたごえで応援しています。日航は責任をもって、全員の職場復帰を一日も早く！

★こんな日本航空の横暴は許せません。オリパラ大会のオフィシャルパートナーとは到底認められません。

★JALの突然の経営破綻から10年。解雇問題がまだ解決されなかったのは驚きです。国も会社も、問題解決の方向性や話し合いをする気がないのでしょうか。当たり前ですが、誰も安心して長く働くことが出来る職場にしていくことは、信頼関係が深まりひいては空の安全に直結します。誰もが平等に誇りをもてる職場になるよう、問題の解決を！

★ジェンダー平等の視点からも、女性が輝く企業として、解雇問題を一日も早く解決することを求めます。

★放漫経営の責任を、そこで働く労働者にツケを押し

付ける等、一方的な労働者整理断じて許されるものではないと思います。一方的に解雇された労働者の希望を尊重し、誠実な話し合いにより解決していくべきものと思います。安心して働ける日航を望みます。

★日本航空の解雇問題は、女性の仲間として他人事とは思えません。女性が長く働き続ける権利を尊重して下さい。一日も早い解決を望みます。

★裁判を闘っても、何で責任をもって解決しようとするのか。あまりにも長く放置されています。企業の体質を変えて、働きやすい企業に！

★アメリカの航空会社の飛行機に乗って、驚くのは客室乗務員が普通に「太っているおばさん」であること。もちろん全員ではありませんが、渡辺直美の例を出すまでもなく、体形や年齢で解雇されるなんて言語道断。ジェンダーギャップ指数120位の汚名返上のためにも、一日も早い解決をお願いします。

★さっさと解決して下さい。

★ジェンダー平等の視点からも、情勢に逆行している行為です。一日も早い解決を望みます。

★子育てや介護を経験した方たちだからこそ、大切に雇用して欲しいです。それはそのような経験をすることで、人としての対応が優しくできるので。

★オリンピック大会のオフィシャルパートナーを務める日本航空は、平和と人権を掲げるオリンピック憲章を尊重し、オリパラの理念にある、憲法28条で保護された労働三権や、労働者が安心して働き続けられる権利を守る責務があります。10年も続く解雇問題は、労働者の尊厳を深く傷つけています。その回復のためにも、日本航空は早期に問題解決を図る必要があります。

★JALは原告が望む解決を決断して下さい！とりわけ、様々な困難の中で働き続け、キャリアを積み安全運航、良質なサービスを提供してきたベテランCAを切り捨てた経営は、今の社会では断罪こそされ、経営再建下でも支持されることはありません。日本中の女性たちが、争議解決の動向を見守っています。



★オリンピック憲章に則ったオフィシャルパートナーである企業の責任において、長引く日本航空の解雇問題を、東京オリンピック・パラリンピック開催前に解決して下さい。